

【科目名】心理測定法		【担当教員】宮岡里美
【授業区分】 専門基礎分野（リハビリ関連科目）	【授業コード】 2-14-0485-0-3	研究室 E 棟 2 階 内線 311 (メールアドレス)
【開講時期】3 年次 前期	【選択必修】PT/OT 選択 ST/RP 必修	miyaoka@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー)
【単位数】2 単位	【コマ数】15 コマ	月～金 9:00-17:00
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ST 専攻の学生にとっては本科目は国家試験の出題領域ですので、基本的事項は十分に理解しておくこと。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 可能な限り講義時間内で演習（基本的な心理統計処理）を実施していく。		
【講義概要】 (目的) 前半は、心理学的データの基本的な扱い方を学ぶ。講義および演習を通じて、1) 科学的（客観性、再現性のある）手法に基づいてデータを収集するためにはどのような測定が必要となるのか、2) その得られたデータに対してどのような統計的処理が適用可能であるのか等を学ぶことを目的とする。 (方法) 講義は心理学で用いられている実証的な研究方法について紹介していく。まず、人間の行動・態度・人格を計量的に測定するとはどういうことなのかを具体的に概説し、さらに将来の臨床現場で一般的に用いられている検査法の基本についても説明していく。		
【一般教育目標 (GIO)】 1) 心理学で用いられる測定法や評価法に関する基本的な知識を身につける。 2) 臨床現場で用いられる検査法の特徴について理解する。		
【行動目標 (SBO)】 1) 授業に毎回出席し、与えられた課題に主体的に取り組める。 2) 心理測定法の特徴を理解し、どのような場合にどの検査を用いたらよいか適切に選択できる。		
【教科書・リザーブドブック】 原則、毎回プリントを配布する。		
【参考書】 宮岡担当部分 1) 市川伸一編著／新心理学ライブラリ 13「心理測定法への招待」～ 測定からみた心理学入門 ～／サイエンス社／発行 1991-02／定価：2,835 円（本体 2,700 円+税）／ISBN 4-7819-0610-2 2) 中村知靖他著／新心理学ライブラリ 14「心理統計法への招待」～ 統計をやさしく学び身近にするために ～／サイエンス社／発行 2006-12／定価：2,415 円（本体 2,300 円+税）／ISBN 978-4-7819-1151-9 3) 大山正他著／コンパクト心理学ライブラリ 12「心理学研究法」～ データ収集・分析から論文作成まで～／サイエンス社／発行 2007-01／定価：2,310 円（本体 2,200 円+税）／ISBN 978-4-7819-1108-3		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。		

平成 26～28 年度入学者用

心理測定法の基本知識につき、定期試験を実施する。									
【達成度評価】		試験	小 テスト	レポート	成果 発表	実技	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合		50	0	50	0	0	0	0	100 点
評価 指標	取り込む力・知識	20	0	25	0	0	0	0	45
	思考・推論・創造の力	20	0	25	0	0	0	0	45
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	10	0	0	0	0	0	0	10
【授業日程と内容】									
回数	講義内容				授業の 運営方法	学修課題 (予習・ 復習)	時 間 (分)		
1 宮岡	心理測定法とは				講義	プリント＋ ノート熟読	20		
2 宮岡	測定の水準と変数 データ収集法				講義 演習	プリント＋ ノート熟読	20		
3 宮岡	基礎的な心理統計Ⅰ 記述統計量：代表値と散布度				講義 演習	プリント＋ ノート熟読	20		
4 宮岡	基礎的な心理統計Ⅱ 正規分布				講義 演習	プリント＋ ノート熟読	20		
5 宮岡	基礎的な心理統計Ⅲ 関係の測度				講義 演習	プリント＋ ノート熟読	20		
6 宮岡	基礎的な心理統計Ⅳ 平均の差の検定（統計的有意性と偶然）				講義 演習	プリント＋ ノート熟読	20		
7 宮岡	テスト理論Ⅰ 歴史的背景				講義	プリント＋ ノート熟読	20		
8 宮岡	テスト理論Ⅱ 信頼性と妥当性 「標準テスト」の意味				講義	プリント＋ ノート熟読	20		
9 宮岡	テスト理論Ⅲ 基準と換算点 「IQ 数値」の評価法				講義 演習	プリント＋ ノート熟読	20		
10 宮岡	精神物理学的測定法Ⅰ 刺激閾、弁別閾、主観的等価点				講義	プリント＋ ノート熟読	20		
11 宮岡	精神物理学的測定法Ⅱ 調整法、極限法、恒常法				講義 演習	プリント＋ ノート熟読	20		

平成 26～28 年度入学者用

12 宮岡	精神物理学的測定法Ⅲ 恒常誤差：測定値の誤りと偏り	講義	プリント＋ ノート熟読	20
13 宮岡	尺度構成法Ⅰ 直接法：マグニチュード推定法	講義 演習	プリント＋ ノート熟読	20
14 宮岡	尺度構成法Ⅱ 間接法：評定尺度法	講義 演習	プリント＋ ノート熟読	20
15 宮岡	まとめ（小テストを解答しながら、上記のポイントを整理する）	講義 演習	プリント＋ ノート熟読	20

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。